



輝け！北っ子！

文責：校長 大内雅之



避難訓練

～3.11の教訓をつなぐ～

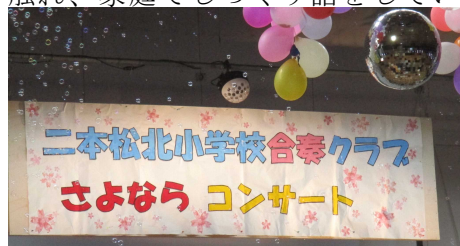
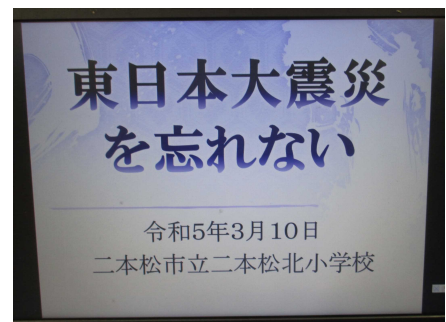
10日、2校時目の休み時間を使って「避難訓練」を行いました。子どもたち自身で「危険を回避する」ことができるように、今回の避難訓練も「予告なし」「教師の誘導なし」で行いました。放送をよく聞いて、避難場所等への速やかな移動をすることを目指しました。

しかし、現実・・・「訓練」ということで真剣さが足りない児童も正直見られました。私からの全体指導では、あらためて「命」を守ることの大切さ、特に気持ちの「切り替え」の素早さ、非常時には一刻の余裕もないこと等を指導しました。

また、教室に戻ってから、テレビ放送で「東日本大震災を忘れない」題して東日本大震災／福島第一原子力発電所事故のこと等について話をしました。亡くなった方、行方不明の方の数や震災関連死などについても触れ、とてつもなく大きな災害であったことを伝えました。

東日本大震災から12年。6年生でもその当時0歳。5年生以下の児童は生まれていないという状況でした。子どもたちの中の「記憶」というところではほとんど残っていない出来事かもしれません。しかし、その当時を知る大人にとっては、忘れることのできない災害であったことは間違いありません。そして、福島で生まれ、福島で生きる私たちにとってこの震災での思い・教訓は何としてでも伝えていかなければならないことだと思っています。

是非、その当時の事や命を守るための思い、命の大切さ、家にいるときの避難の仕方など折に触れ、家庭でじっくり話をしていただきたいと思います。



合奏部さよならコンサート 開催 ～音楽の楽しさを胸に～

3月10日、合奏部の「さよならコンサート」が開かれました。コロナ禍でなかなか思うような活動ができない時期もあったのですが、「音楽の楽しさ」は大事にして活動を続けてきました。当日は、多くの保護者の皆様に見守られながら、子どもたちは最後のステージを楽しんでいたようでした。部活動はまさに+αの活動。+αの行動でしか感じること・見ることができないことを経験した子どもたち。これからの成長が楽しみです。

